業務部速報

No.　29
発行　12. 12. 21
JR東労組　業務部

「組合員の雇用と生活を守り、営業職場の未来を切り拓く」申し入れを行う！

中９号

職場討議資料　2012年12月

2012 政策フォーラム
「営業職場の未来」
営業政策フォーラムプロジェクト

◆これまでの取り組み

3月6日、12地本の営業職場の代表と本部営業部会の総勢80名で「営業職場の将来をつくり出すプロジェクト会議」を立ち上げ、目的を将来像の具体的な検討、組織強化、担い手づくりとして、職場検証運動と並行して、6回の会議を重ねてきました。

【検証運動で明らかになった問題点】
①車イス対応時の安全性
②連続着座時間やつり銭準備などの作業ダイヤ
③駅業務の担い手が育成できない教育やライフサイクル
④業務委託の進展に伴う働く場の縮小　etc

◆効率化に対するたたかい

私たちは、労使共同宣言の主旨に基づき、「必要な効率化」を実施してきた。

業務委託第一エルダー就務の開始
グリーンスタッフ契約満了後の就務の受け皿
プロパーの拡充
「職場」の職場はどうなるの？

これまで「労使共同宣言」の主旨に基づき、健康と安全を保障できる労働環境を整備するために、「必要な効率化」を労使の真摯な議論の上で実施してきました。

国鉄改革を真面目に担った先輩たちが、「年金支給開始までの生活を安定して送ることができるように、定年退職後の雇用の場を確保するため、グループ会社への業務委託を実施してきました。

-1-

私たちはこの間「人にしかできない仕事・サービス」を基本に据え営業プロジェクトを中心に議論を深め、年齢断層やグリーンスタッフの雇用問題、安全・サービス・技術継承など、山積する課題の克服と共に、誰もが働きがいを実感できる駅職場を創造するために、2012 年政策フォーラムにおいて政策提言し、検討した内容について、下記の通り申し入れを行いました。

職場討議資料を読み合わせ、営業職場の未来を切り拓こう！

≪申し入れ項目（抜粋）≫（全 11 項目）

★技術専任職を「営業のプロ」と位置付け、各職場に配置すること。
★新規採用者と社会人採用者から「営業のプロ」を育成するため、駅配属後、本人の希望に基づき、「乗務員コース」および「駅コース」の選択制にすること。なお、「駅コース」に関しては、「営業職コース」と「輸送職コース」とすること。
★「サービスマネージャー」・「フロアマネージャー」・「安全マネージャー」・「駅業務サポートセンター」の新設すること。
★観光の拠点となる駅の体制を構築すること。
★「業職種限定社員」制度を導入し、契約社員制度を廃止すること。また「業職種限定社員」は５年満了を向かえるグリーンスタッフの希望者に限定して採用をすること。

提言実現に向け、全営業職場から議論を巻き起こそう！